

# N P O 中帰連平和記念館 CHUKIREN HEIWAKINENKAN

友の会 会報 vol.2

〒350-1175  
埼玉県川越市笠幡1947-25  
TEL: 049-231-9706

図書館は思想の陣地である 一宋慶齡一

戦争と平和の問題を考える  
あなたの書斎として  
どうぞごゆっくり  
お使いください



## 友の会会報遅延のおわびと現況報告

仁木 ふみ子

この1年半ほど、私自身が体調不具合の状況が続き、錯綜する仕事の中で会報も遅れに遅れてしましました。しかしこれで図書館の仕事が停まっていたわけではありません。

本の搬入、登録、分類、目録、人目につかない作業は、関東ブロックの「受け継ぐ会」の人々が当番を組んで、司書の宮本さんといつしょに黙々と続けて下さっています。一組九条連のグループが現れると、それは、県を越えて、九条連のひとびとに知られる機会になつて、ここは、いつの間にか、名乗らずして日本の平和運動をつないでいく役割をも果たしているようです。知らない間に「世界の平和博物館」の一つにも数えられるようになっています。

今、この館の最大の問題は、スペース確保の問題と、図書以外の資料整理の問題です。貴重なビデオも痛んでものでDVDに移し替えねばなりません。写真も、ネガも、保存のために、乾燥したスペース確保が必要になります。

どうぞみなさまのお知恵をお貸しいただけますようにお願いいたします。

(中帰連平和記念館館長)



## ||ホール||

- ① 季刊「中帰連」
- ② 玄関ホール山住正己さん(都立大総長)、松村高夫さん(慶應大教授)寄贈の新書版書架。ドアの奥は閲覧室。このホールの右側2室は、山住文庫2万冊。
- ③ こどものスリッパ入れは、倉橋綾子さん寄贈。ドアの中は、④幼児のへや。3歳児を連れてお母さんたちが金曜の午前数人集って絵本の読み聞かせの後、こどもはおもちゃで遊んだり、眠ったりし始めると、おかあさんたちは、机をよせて英語の勉強を始める。
- ⑤ こども図書館、小、中学生用図書は全国の友人たちが寄贈。赤いソファーは、関西学院大学の興隆行グループの寄贈。





## || 閲覧室 ||

- ② 2006年11月3日、開館の日、70人の方々が集まってくれました。
- ③ 来館者に、撫順の映像を見てもらいたいときは、事務室から、テレビを持って来てもらう状態だった。
- ④ 今は、プロジェクターとスクリーンが入って、大勢の方に、映像を見ながら考えていただくことが出来るようになった。
- ⑤ 閲覧室東側の木製書架（6段）5架を・事務室に移し、スチール製（8段）12架をいれた。





## 世界における 平和のための博物館

（本文・写真）芦沢昇羅、小林タツヤ



（本文・写真）芦沢昇羅、小林タツヤ

# 「国際平和博物館会議」に参加

08年10月6日から3日間、京都・立命館大学などで開かれた「第6回国際平和博物館会議」から、「NPO・中帰連平和記念館」にも参加要請があり、芦沢が参加・発言しました。世界には「総会」も開かれました。が参加、70団体の代表が発表し、2日日の午前には「総会」も開かれました。

初日は高杉巴彦（立命館大学国際平和ミュージアム）館長が開会挨拶に立ち、続いて主催者団体挨拶として川口清史・立命館大学学長の挨拶などに続き、ピーターラ・ヴァン・デン・デュンケン氏（平和のための博物館ネットワーク）から「平和のための博物館—その過去・現在・未来」と題した基調講演がありました。

その後、ヨーコ・オノ（イマジン・ピースセンター）、セルジオ・デュアルテ（国際連合・軍縮担当上級代表）、デズモンド・ツツ（南アフリカ聖公会大司教）の各氏からのメッセージが代読されました。

私は2日午前の「虐殺・捕虜・戦犯たちの経験を伝える博物館」の分科会で発言しました。発言の内容は「中帰連」について、特に「撫順戦犯管理所」で何があったか、彼らがどのような経過を経て鬼から人間に返る「認罪」に至ったかを主に話しました。そして、02年の中帰連解散とその意志を受け継いだ「撫順の奇蹟を受け継ぐ会」を立ち上げ、その資料の収集と散逸防止の目的で「中帰連平和記念館」の設立経過と現状などの報告をしました。

②もう1人は「ナスムの家」で働く若い日本人男性から、「2000年の女性国際戦犯法廷で元日本兵が加害証言してくれたことで、彼女たちは本当に感謝し喜んでいますか?」との質問には、証言した金子安次さんと鈴木良雄さんの近況を話しある気ですと伝えました。

会場には盧溝橋の「抗日記念館」の唐副館長と、「瀋陽九一八歴史博物館」の井曉之館長もお越し下さりご挨拶できました。また、「WAM」の池田恵里子さんや「バンクーバー9条の会」でもご活躍の東松聰子さんなども参加されていました。

他に「ひめゆり平和祈念資料館」、福島の「アウシュビツツ平和博物館」、島根の「人間自然科学研究所」、東京の「戦争遺跡を歩く会」などの皆様とも交流が出来ました。

尚、「立命館大学国際平和ミュージアム」には、07年4月、銃弾に倒れた伊藤一長・元長崎市長のご遺族から、当時の着衣の背広や血染めのワイシャツなどが寄贈され、「特別展示」されていました。

（芦沢昇羅）

# NHK・BS『認罪～撫順戦犯管理所の6年』

## ギャラクシー大賞を受賞

NHK・BSハイビジョン特集で08年11月30日、

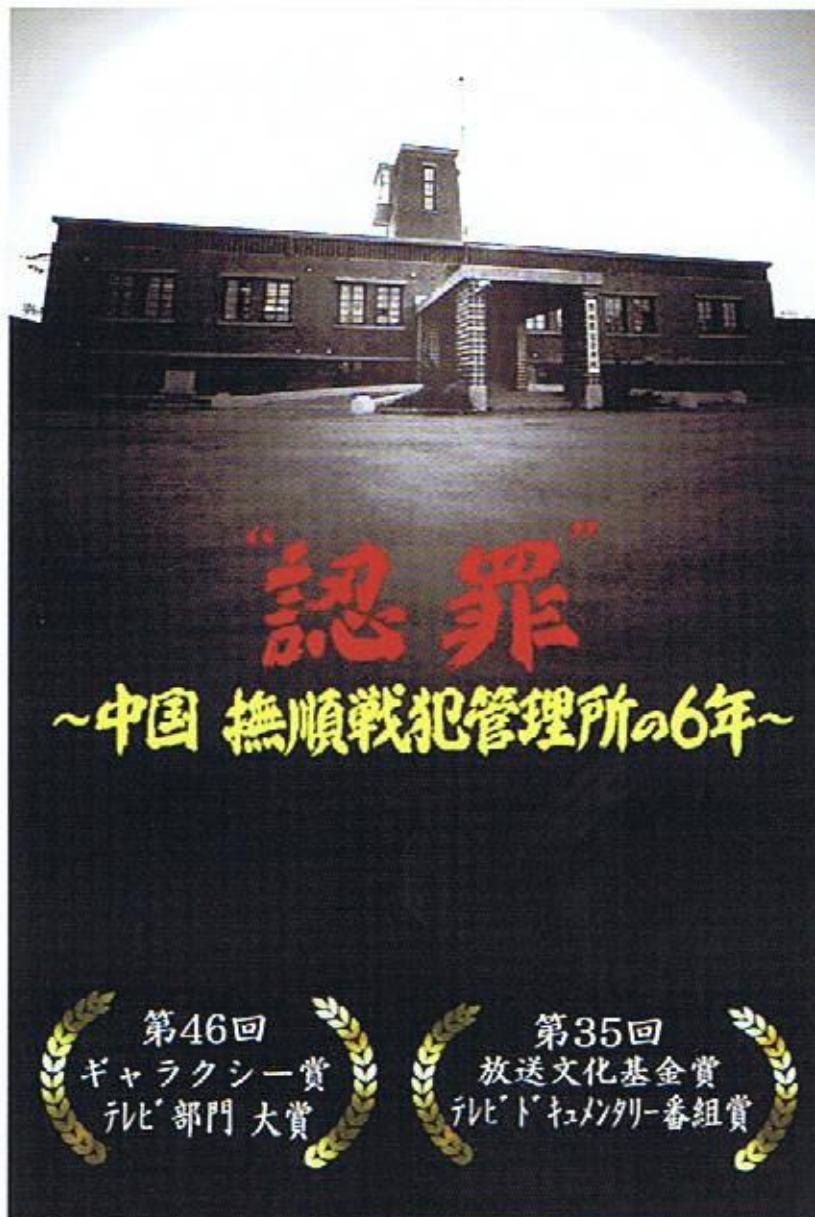
「認罪～撫順戦犯管理所の6年」(110分)が放送されました。

この番組は50～56年の間に中帰連のみなさんが収容された「撫順戦犯管理所」で何があり、戦犯とされた彼らがどのような扱いを受け生活したかを、現

地・戦犯管理所や当時の中国側の看守や医師、看護婦さんなど、また、国内で生存している元中帰連のみなさんの証言を交え、当時の記録映像や写真も

折り込み制作したものでした。

この作品は08年度のTV部門で「ギャラクシー大賞」を受賞し、BSで再放送、再々放送されました



が、残念ながら地上波での一般放送の希望は実現しませんでした。

実際の製作はテムジンの中村主任の下、若い内山直樹さんが何度も当記念館に足を運ばれ資料を丹念に読み込んで、中帰連の方々を訪ね、撫順の現地取材に行かれました。

その前の年、NHKの教育番組で薄傑が放映された時も、この記念館は、資料を提供していますが、内山さんの熱意と、問題への迫り方には、驚きました。頼まれなくとも、戦犯管理所の所長には、この若者が行ったら便宜を図ってくれるように、協力を依頼しておきました。ですから、この作品が、テレビ部門の大賞ギャラクシー賞を受けたとの報を受けた時は、この写真のハガキをコピーしてすぐ、戦犯管理所に送り、協力してくれた方々に、ありがとうございました。

この番組には、大河原孝一・元副会長（北海道）、山口伊藏さん（北海道）、金沢正夫さん（北海道）、高橋哲郎・元事務局長（東京都）、小山一郎さん（東京都）、金井貞直さん（千葉県）、坂倉清さん（千葉県）、絵崎毅さん（神奈川県）、西口政一さん（三重県）、難波靖直さん（島根県）の10人が出演・証言下さっていますが、その後、既に「山口、金沢、西口、金井さん」4名の方がなくなられました。

また管理所側では于瑞華さん（人事）、黄国城さん（総務・管理教育）、金興詩さん（炊事）、温久達さん（医師）、趙毓英さん（看護士）、鄭英順さん（金源所長夫人）が出演・証言、また、最後の所長だった金源さんと、華玉鋒さんは記録テープの再生で証言しています。

# 図書寄贈者氏名

氏名	冊数	氏名	冊数	氏名	冊数	氏名	冊数
山住正己	2万	追塙千尋	32	志々日彰		野田正彰	
松村高夫	1万	大久保フヨ		櫻井新二		野村まり子	
井上喜博	4000	大島博幸		佐藤清貴		橋本聰	25
国友俊太郎	1596	長雅洋		島村つた子	3	花園昭雄	
伊東昭雄	800	尾形洋一	15	神惇子		彦坂諦	9
新井利夫	411	岡見浩史		杉森弘子	10	平澤博人	
三尾豊	354	小川政亮	8	芹沢昇雄		平山百子	
伊橋彰一	146	荻野富士夫		高塚純一	13	星徹	2
山中盛之助	104	奥村和一	13	高橋幹雄		星野泰久	
中帰連事務所	182	小野寺武男		高山光貴	42	本間晃一	
高岩仁	35箱	陰地広一		田嶋きよ子		松島赫子	
藤井治夫	110箱	甲斐国三郎		立間祥介	12	松本勝正	29
青木茂		梶村太一郎		段躍中	51	松本武彦	25
浅羽千之助	2箱	加藤実		寺内淑子		松本昌次	
天野左千夫	55	香取敬子	5	當原ツヨ	10	宮澤信子	89
天野政子		雁部平三	125	トニーチャン		宮本謙介	
池田恵里子	ビデオ	川崎晃暉	ビデオ	百々和		森川忍	3
市川宏	15	岸田伸幸		富野睦子	510	山上正太郎	
一見真理子	73	北川直美		富本裕		山川龍次	
井上久士	23	北野紀子	6	中川寿子		吉川春子	
稻葉績		城戸典子		西里扶甬子	7	米村まさ枝	28
今井栄	17	倉田富士雄		二田水弘平		米山惇	
鵜川一年		倉橋綾子		二宮正三			
ABC企画		齋藤昭俊		日本僑報社			

## 年度別来館者数

2006年度	87名
2007年度	408名
2008年度	242名
2009年度	348名

合計  
1085名

② 連 平和記念館開館

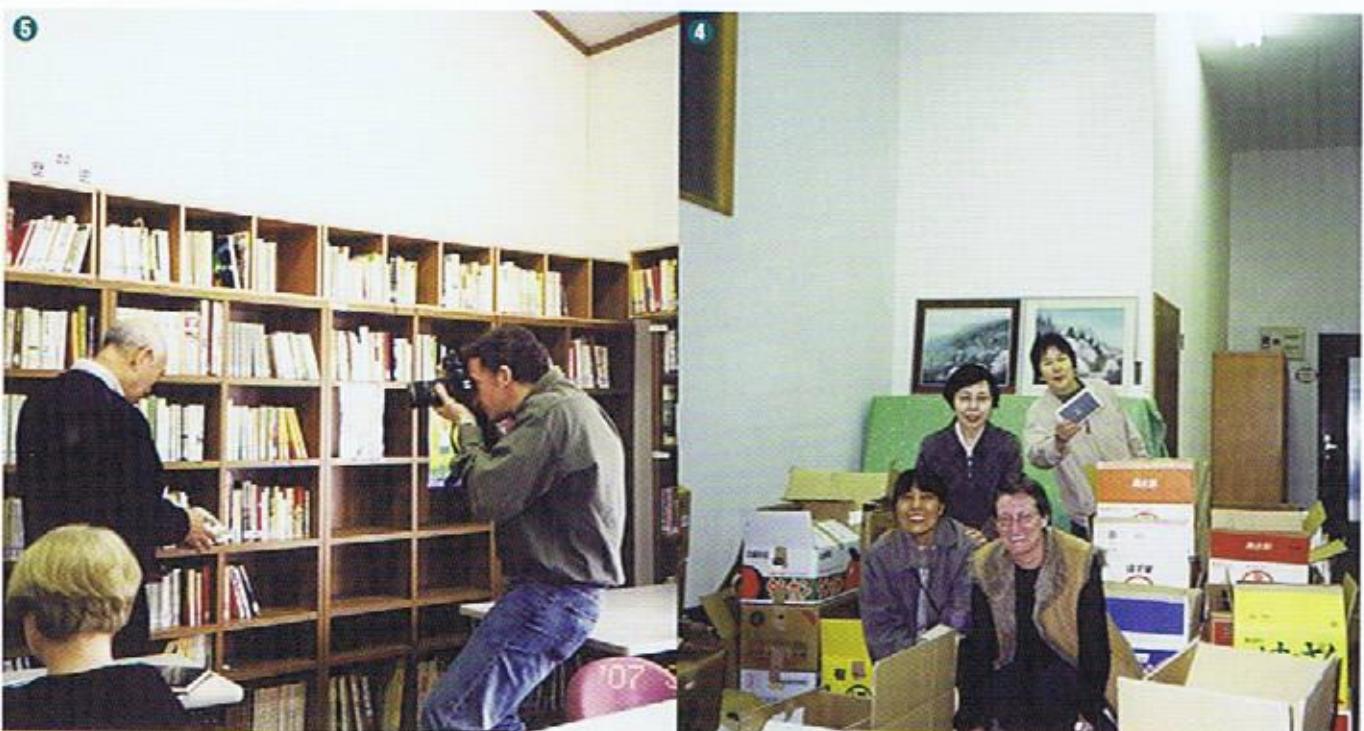


① 来館者 I

- ① 2003撫順戰犯管理所侯桂花所長(右)
- ② 山住先生の教え子の大学の教授たちと司書・宮本さん
- ③ 中国国際友誼促進会李秘書長と座談会
- ④ 前列右、ペトラさん(ドイツ)、牧野さん(この日オーストラリアから)
- ⑤ 後ろ姿、ドロタさん(ポーランドの記者)が、イタリーの記者と一緒に。



③







## ||来館者 II||

- ① 「日本帝国主義下の植民地労働史」を読む。松村高夫さんの導入講義  
 ② 以後、1章ずつ、分担して、読みほぐしていく。



## 記念館の現在の状況

増改築は、緊急課題になっている。

- ① 前号で雨漏りのSOSを発信し、直ちにカンパが届けられ、屋根は、全面的にトタンで覆われ、修復できた。(88万円)
- ② 表裏連結のスチール書架は、整理済みの本が3列入っている。

- ③ 高岩仁さん、藤井治夫さんのもので、書架に入りきれないものは、箱のまま書架と書架の間の通路に置いてある。
- ④ 整理済みの本も、箱に収めて積み上げることにした。



## 平成20年度特定非営利活動に 係わる事業会計収支計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)  
特定非営利活動法人中帰連平和記念館

科 目	金 額	単位:円
I 収入の部		
1 会員年会費	1,801,000	
2 寄付金	2,304,607	
3 借入金収入	0	
4 立替金戻入	0	
5 預かり金	0	
6 雜収入	160,211	
当期収入合計	4,265,818	
前期繰越収支差額	356,900	
収入合計	4,622,718	
II 支出の部		
1 事業費		
修繕費	888,846	
事務用品費	160,585	
通信費	219,321	
消耗什器備品費	20,748	
印刷製本費	241,704	
光熱水道料	155,129	
会議費	29,480	
旅費交通費	60,625	
賃借料	113,400	
司書謝礼	480,000	
租税公課	91,600	
雜費	23,518	2,484,956
2 固定資産取得費		
仮払金(土地)	0	
建物	0	0
3 借入金返済		
短期借入金返済	506,748	
預かり金支払い		
立替金	506,748	
当期支出合計		2,991,704
当期収支差額		1,631,014
次期繰越収支差額		1,631,014

## 平成21年度特定非営利活動に 係わる事業会計収支計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)  
特定非営利活動法人中帰連平和記念館

科 目	金 額	単位:円
I 収入の部		
1 会員年会費	220,000	
2 寄付金	505,800	
3 借入金収入	0	
4 立替金戻入	0	
5 預かり金	0	
6 雜収入	70,218	
当期収入合計	796,018	
前期繰越収支差額	1,631,014	
収入合計	2,427,032	
II 支出の部		
1 事業費		
修繕費	0	
事務用品費	128,101	
通信費	114,395	
消耗什器備品費	471,587	
印刷製本費	0	
光熱水道料	108,939	
会議費	13,490	
旅費交通費	36,000	
賃借料	113,400	
司書謝礼	480,000	
租税公課	81,200	
雜費	12,880	1,559,992
2 固定資産取得費		
仮払金(土地)	0	
建物	0	0
3 借入金返済		
短期借入金返済	0	
預かり金支払い	0	
立替金	20,000	20,000
当期支出合計		1,579,992
当期収支差額		847,040
次期繰越収支差額		847,040

会計担当 長坂光行

本書です。

その後、吉田裕さん(一橋大学)、岡本厚さん(岩波書店)と相談して解説付きの出版を準備することになり、関係する歴史学者の方々によつて、「侵略史研究会」が、二〇〇六年三月から、毎月一回開かれるようになります。そして、一般読者のためには、本書とその歴史的背景を紹介したのが

「これは、中帰連と「受け継ぐ会」にさしあげます。たくさんの若い人たちが読めるように使ってください」王毅さんは言わされました。

しあげます。たくさんの若い人たちが読めるように使ってください」王毅さんは言わされました。

あとがきより

中国侵略の証言者たち

罪と向き合うとは?

全文公開された  
戦犯裁判供述書から

今度左記の本が出版されました。

# NPO中帰連平和記念館

## 友の会へのお誘い

私どもは、次の世代を担う若者たちに、戦争と平和の意味を考えほしいとたくさんの本を残された中帰連の方々の思いと、それに賛同してご自分の蔵書を寄贈してくれた研究者の皆様の熱い思いに感動し、この平和記念館を国民の遺産として守り育てて行くのは、国民の義務であろうと考えています。この記念館の経常経費は、今までこれからも、すべて「友の会」の経費、カンバでまかなっています。

私どもは、この中帰連平和記念館の設立の趣旨に賛同し、「友の会」へのお説明を呼びかけるものです。どうぞあなたのお力をこの中帰連平和記念館の存続、発展のためにおよせください。この呼びかけの輪が日本列島の津津浦浦まで広がりますように、みなさまのお力を貸してください。よろしくお願い申し上げます。

二〇〇七年二月一五日

## 呼びかけ人

大田 勿（元日本教育学会会長）

堀尾輝久（元日本教育学会会長）

梅原利夫（和光学教授）

吉田 裕（二橋大学教授）

笠原十九司（都留文科大学教授）

国部牧大（歴史研究者）

姫田光義（元中央大学教授）

松村高夫（元慶應大学教授）

吉見義明（中央大学教授）

田中 宏（龍谷大学教授）

渡辺 治（一橋大学教授）

野田正彰（関西学院大学教授）

本多勝一（ジャーナリスト）

斎藤貴男（ジャーナリスト）

岡本 厚（世界一編集長）

上杉 聰（日本の戦争責任資料センター）

内海愛子（東京女子大学教授）

桝沢和幸（弁護士）

米倉 勉（弁護士）

大庭雅子（弁護士）

日中友好元軍人の会

不戦兵士・市民の会

日本戰没学生記念会（わだつみ会）

日本中國友好協会

関東日中和平友好会

仁木ふみ子（中帰連平和記念館館長）

## 中帰連平和記念館

### 開館日について

開館日 水・土・日

時間 10:30~17:00

(12月~1月は16:00まで)

休館日 月・火・木・金・年末年始

はじめておいでの方は、

前日までにお電話をください。

TEL 049-231-9706

### ご寄贈いただけませんか

・戦争と平和に関する本

・翻訳史、連隊史、大隊史等、当時の軍隊事情が分かる本

・その他歴史の研究書

・ご自身・ご家族の戦争・戦時体験を書かれたもの

・子どものえほん、読み物など

・幼児から、小学生、中学生までのもの

「中帰連平和記念館 友の会」の会員になってこの記念館運営を支えていただけませんか

### NPO中帰連平和記念館友の会 会則

- 第1条 この会は「NPO中帰連平和記念館友の会」という。
- 第2条 この会の事務所を川越市笠幡1947番地25におく。
- 第3条 この会は会費によってNPO中帰連平和記念館の運営を支える。
- 第4条 年間会費は次のように定める。
  - A 一般会費 5,000円
  - B 維持会費 10,000円
- 第5条 友の会の会員には運営状況を報告する。
- 第6条 友の会の会員は、この記念館を利用できる。
- 第7条 記念館の運営については、NPO中帰連記念館の理事会に於いて決定し、執行する。



## 民衆のための民衆による民衆の図書館を！

中帰連平和記念館は、中帰連の方々の生涯を記念し、中帰連の方々の平和を願う心を未来に引き継ぐ場所として、私どもは大事に守り育てて行くつもりです。

村山首相のとき、政府によって作られた日中歴史研究センターを、10年もたたないうちに小泉首相は、つぶしてしまいました。大量の本は売り扱われ、職員も解雇、日本のみでなく、中国の研究者にも出ていた研究助成金もなくなりました。政治家の歴史への無知は、国民の歴史への無知に広がって行きます。  
それなら民衆の手でつくるしかありません。

戦争と平和を考えるためのこの中帰連平和記念館の存在は、いよいよ大事なものになつてきました。民衆のための民衆による民衆の図書館を守り育てて行くためにあなたのお力を添えていただけたらどんなに嬉しいことでしょう。

拡大改築の図面は、環境デザイン研究所の仙田満さんの手で、20万冊収容可能な、資料にやさしい、耐久性に優れたものが準備されています。

中帰連平和記念館は、20世紀の戦乱を経験した者たちから21世紀の地球上に住む人たちへの置き土産です。どうぞ一度見にいらしてください。

# お願 い

友の会の会員として、この記念館の経常経費をお支えいただけませんか。

記念館の経費は、開館まで、すべて元中帰連の方々のカンパでまかなっていました。  
土地83坪、建物55坪の購入費から、内装費（床、壁張り、網戸、階段付け）、備品費（書架、  
机、椅子等）も何とかまかないました。

整理作業は、関東ブロックの「受け継ぐ会」のボランティア活動で支えてきています  
(8~9ページ参照)。

2007年2月の「友の会へのお誘い」以後、「友の会」のみなさまから寄せられる会  
費で日常経費はまかなってまいりました。本当に感謝しています。

## 2010年度の会費をお願いいたします。

年会費は、一般会員 5,000円

維持会員 10,000円 です。

これも無理でない範囲でご協力ください。年に一度ですから、現職の方は、職場の  
友人から1,000円ずつ、10人協力していただいて、維持会員一人にするとか。学生さんは、500円ずつ、友人からコーヒー代のつもりでいただいて一般会員一人分にするとか、年金の方は、「ご無理のない範囲でご協力いただけるとありがたい」とです。

## また増改築のための準備金としてカンパをお願いします。

額はご随意に。

この会報を2部入れておきますので、どなたか、お一人仲間に誘つていただけると嬉  
しく存じます。民衆の力で、日本列島にこの友の会のネットが張り巡らされる日をこ  
いつしょに夢見たいと楽しみにしています。

この辺の土地の価格は、市街化調整区域 一坪 10万円

宅地 一坪 30万円です。

市街化調整区域の場合、建築制限がありますが、図書館法による図書館建設は可能で  
す。また鉄筋コンクリート造りの建築費は、1坪あたり30万円かかります。  
もし良い方法をお考えの方は、お知恵をお貸し下さい。よろしくお願ひいたします。

友の会会費・カンパ 送り先  
埼玉県川越市笠幡 1947-25  
中帰連平和記念館  
振替番号 00150-6-315918



- ① 2007年3月27日こどもとしょかんオープン。
- ② ぼくたちもテープカット
- ③ 大河原おじいさんとくおおきなかぶをぬきました。